

22歳以下先着
300名ご招待

後援：兵庫県・兵庫県教育委員会 神戸市・神戸市教育委員会

次代を担う青少年に贈るコンサート

北海道東征

『国の成り立ち』を歌う珠玉の名曲 (解説／産経新聞大阪本社編集委員 安本寿久)

【第一部】

ベートーヴェン

交響曲第3番 「英雄」

【第二部】

信時潔

交声曲「北海道東征」 (北原白秋／詞)

「海ゆかば」 (『万葉集』大伴家持長歌より)

合唱◆神戸市混声合唱団

指揮◆角田鋼亮

管弦楽◆大阪フィルハーモニー交響楽団

令和3年(2021年)

4/29 (木・祝) 14:30開演(13:30開場)

兵庫県立芸術文化センター

KOBELCO 大ホール (阪急「西宮北口」駅下車、南改札から連絡通路にて直結)

主催：一般財団法人 東洋財団

協力：産経新聞大阪本社

【チケット取扱い】

- 大阪アーティスト協会 TEL.050-5510-9645 (平日10時～18時)
- 芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255 (10時～17時/月曜休*祝日の場合翌日)
- チケットぴあ0570-02-9999 (Pコード:191-683) TEL.0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>
- ローチケ.com (Lコード:54998) <http://l-tike.com/>

【お問合せ】大阪アーティスト協会 TEL:06-6135-0503/FAX:06-6135-0504/e-mail:artists@gol.com

1月18日(月)10時発売開始

- 入場料 (前売指定/税込)
S席¥5,000/A席¥4,000
- 22歳以下ご招待 (当日指定)
大阪アーティスト協会のみ取扱い
小学生よりご入場頂けます
小中学生は保護者ご同伴下さい

ご来場の際はマスク着用の上、
感染症予防対策にご協力下さい。

心から心へ...



かい どう とう せい 「海道東征」

「海道東征」は、初代神武天皇が日向・高千穂宮を旅立って大和・橿原の地に着き、初代天皇に即位するまでの16年間(日本書紀では6年間)を歌い上げる交声曲(カンタータ)です。即位から2600年経った皇紀2600年(昭和15年、西暦1940年)、奉祝曲として誕生しました。作詩は北原白秋、作曲は山田耕筰と並ぶ日本洋楽の父と呼ばれる信時潔です。白秋はこの詩を書くにあたって古事記、日本書紀を熟読し、大和言葉多用した美しい日本語で神武天皇の足跡を再現しています。信時は、わらべ歌の技法も取り入れて巧みに、「日本の始まり」である東征を表現しています。(安本 寿久)

第1章 高千穂 (たかちほ)

天地創造の場面から始まり、日向の国の高千穂の土地柄のよさが賛えられる。しかし、天照大御神の子孫であるカムヤマトイハレビコノミコト(後の神武天皇)は、「わが国を統治するには早く東へ向かわねばならぬ」とうたう。

第2章 大和思慕 (やまとしほ)

出発前、まだ見ぬ大和の国を憧れてうたう。『古事記』からの引用で「大和は国のまほろば」という有名なフレーズで始まる。

第3章 御船出 (みふなで)

日が昇り、イハレビコたちの顔が朱に染まる。ちょうど満ち潮になり、いよいよ船出。東征が始まる。

第4章 御船謡 (みふなうた)

船出にあたり、旅の安全を祈願する。『祝詞』が引用されている。

第5章 速吸と菟狭 (はやすいとうさ)

速吸は大分県と愛媛県の間、佐賀関海峡、菟狭は大分県宇佐地方をさす。速吸の海峡での出来事をわらべうた風にうたい、菟狭に上陸した一行が歓待される様子を日本の中世歌謡風にうたう。

第6章 海道回顧 (かいどうかいこ)

宇佐にしばらく滞在した後、筑紫の国、安芸の国、吉備の国を経てゆつくりと東を目指す。

第7章 白肩の津上陸 (しろかたのつじょうりく)

一行は河内の国、自肩之津に上陸するが、長髓彦(ながすねひこ)の軍勢と戦闘になる。

第8章 天業恢弘 (てんぎょうかいこう)

イハレビコは大和の橿原で天皇に即位する。三種の神器への賛歌がうたわれ、日本が建国される情景で結ばれる。



角田鋼亮 ● 指揮 Kosuke Tsunoda

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年カラヤン生誕100周年記念第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年第3回マーラー指揮コンクールで最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌響、群馬響、東京都響、東京響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティフィルハーモニー管、名古屋フィル、京都市響、広島響、九州響と共演している。2016年セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」受賞。現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団および仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者を務めている。いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓けている。
<http://kosuketsunoda.com>



大阪フィルハーモニー交響楽団 ● 管弦楽 Osaka Philharmonic Orchestra

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年に亘り朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次音楽監督時代には「星空コンサート」、「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014~16シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「ショスタコーヴィチ/交響曲第4番」、「交響曲第7番」、「交響曲第11番」の録音で高い評価を得た。2018年4月尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホールを中心に全国各地で演奏活動を展開。2017年度文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017・18年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞を2年連続受賞。2020年「ブラームス/交響曲第2番・第3番」、「ブラームス/交響曲第4番」、「ブルックナー/交響曲第3番」3枚のCDをリリース。
<http://www.osaka-phil.com>

神戸市混声合唱団 ● 合唱 Kobe City Philharmonic Chorus

1989年神戸市により設立された日本を代表するプロフェッショナルの合唱団。神戸を拠点に活動。童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーを持ち、市民の身近な合唱団として親しまれ、『音楽のまち神戸』推進に大きな役割を果たしている。2005年にはウラディーミル・アシュケナージ指揮・NHK交響楽団と「レクイエム」(阪神・淡路大震災10年)を共演。2010年合唱の国ラトヴィア(リガ市)で世界的に有名な室内合唱団「アヴェ・ソル」とジョイントコンサートを行い、姉妹合唱団協定を締結。2013年7月リガ市からの招聘によりユネスコ無形文化遺産であるラトヴィア「歌と踊りの祭典」に出演。また、2011年に初のCD、特別演奏会「宇野功芳 叙情の世界」を、翌年に第2弾CD「宇野功芳 叙情の世界2」をリリースし、レコード芸術特選盤などに選出される。2017年10月松原千振が音楽監督に就任。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。

【主催者】一般財団法人 東洋財団の取り組み

2018年1月、次代を担う青少年を応援することを目的に財団を設立し、次のような事業を展開しています。

「奨学金事業」 経済的事情を抱える兵庫県下の高校生に対して、大学進学後の学費や生活費を給付型奨学金を支給することにより支援しています。

「芸術文化振興事業」 兵庫県や神戸市の教育文化事業への寄付をはじめとして、スタインウェイ製、ベーゼンドルファー製のピアノをコンサートホールに寄贈。その他、演奏会の主催や援助を行っています。

「里親支援事業」 兵庫県と大阪府を中心に子供たちの里親・養親を求める運動や地域の子育て支援を進めている「公益社団法人 家庭養護促進協会」の愛の手運動を支援しています。

東洋財団ホームページ: <http://toyo-zaidan.or.jp>

